

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年 9月13日更新

事務事業名	合志市情報化基本計画進行管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	政策部	課長名 大茂 竜二
	施策	25	行政改革の推進		所属課	企画課	担当者名 篤永 晋
	施策の柱	86	情報化の推進		所属班	情報企画班	(内線) 1263
予算科目	会計一般	款	項	目	事業連番	根拠法令	成果優先度評価結果 : ⑧ コスト削減優先度評価結果 : ⑥
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 23 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	平成20年5月策定の「合志市情報化基本計画」に基づく各種事業の進行管理を行う。平成23年度に第2期実施計画を策定、時代に即した計画の見直しを行なった。平成24年度以降は進行管理を行い、実態に応じ基本計画の見直しを行っている。
【業務の流れ】	・庁内ネットワーク推進委員会で各種事業の進行を確認する。
【主な予算費目】	予算費目なし
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO) 第2期実施計画(改訂版)に基づいた運用管理		28年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 第2期実施計画(改訂版)見直しに基づいた運用管理 庁内ネットワーク推進委員会
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回	予算の主な増減の理由
→ ア: 計画策定のための協議回数		予算費目なし
→ イ:		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 情報化の対象となる事業	(単位) 本	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
		→ ア: 事業数
		→ イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 計画を見直し、新たに進行管理を行なう。	(単位) 人	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
		→ ア: 改訂検討会の出席者のべ人数
		→ イ:
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
より多くの人員で検討することにより、時代に合った情報化の検討を行なう。平成24年度以降は進行管理になるので、庁内ネットワーク推進委員会の中で、議論を行なう。		全体計画
		~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	25年度実績(決算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	27年度実績(決算)	28年度目標(当初予算)	29年度予定	30年度見込	31年度見込
① 活動指標	ア	回	3	2	2	3	2	2	2	2
	イ									
② 対象指標	ア	本	82	82	82	82	82	82	82	82
	イ									
③ 成果指標	ア	人	63	42	44	64	44	44	44	44
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円								
	(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	5	5	2	5	2	2	2	2
	延べ業務時間	時間	250	170	300	170	30	30	30	0
	(B)人件費計	千円	996	677	1,195	631	119	119	119	0
トータルコスト(A)+(B)	千円	996	677	1,195	631	119	119	119	0	

事務事業名	合志市情報化基本計画進行管理事業	所属部	政策部	所属課	企画課
-------	------------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 庁内ネットワーク推進委員会で第2期実施計画の進行管理をとりまとめ、報告し目標を達成した。
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 庁内ネットワーク推進委員会にて、計画見直しにつき各課と議論を行い、次期計画を策定する。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 急速に変化する情報化に対応するため、庁内ネットワーク推進委員会等で議論を重ねる必要があるが、基本計画の進捗管理については成果の向上の余地はない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 他に類似事業がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 現在事業費なしのため、削減の余地なし。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 毎年進捗状況を把握し、見直しを検討するため、削減余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 情報化基本計画については、全市民対象として公平にサービスを受けてもらうために策定した計画となっているので、公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 平成20年度当初計画策定時には、策定委員を公募し計画を策定した。その後、総合計画との相違部分を整理し、計画中の実施プログラムの進捗状況、今後の課題を追記し、整理した。毎年度、進行管理しながら必要に応じ改訂を行う。

3 評価結果の総括 (CHECK)

平成28年度以降の計画見直しにあたって、各課の実施内容を精査し、庁内ネットワーク推進委員会にて、新しく具体的な目標を設定を行なう。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						